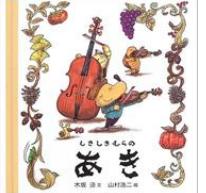


2歳児クラス 10月 第2回 「しきしきむらのあき」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 講：「♪小さい秋みつけた～」と歌いながら表紙の周り秋の物に注目させ、名称を確認する。(本物の落ち葉やどんぐりなどを提示するのも良い) 	教材 ★絵本 ★iPad(シアターセット)	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①全体的にリズミカルに読み進める。秋を感じる風の音、落ち葉の音などは特に表現豊かに演出する。 ②スズムシ、キリギリスなど秋の虫が出てくる場面では鳴き声などを工夫し、特徴的に表現する。 ③最後の「あきみーつけ」の後にどんな秋があったか思い出し聞いてみるのも良い。 	保育士の役割 ・子ども達と一緒にお話を楽しむ	

がくしゅうタイム

活動①	ねらい 巧緻性 はさみの使い方を理解して最低3本の紙帯を切り、秋色の葉っぱを作ることができる。	実物参照
設問	秋色の紙帯をはさみで切り、秋色の葉っぱをたくさん作りましょう	教材 紙帯（赤・黄・橙） 1人各1本 提示用紙帯三色1コマ各1本 ★はさみ（保育士の人数分） 皿
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「先生、良いもの持ってきちゃった！見たい？」と期待を持たせる。 講：「あきあきあーき あきのはっぱ！先生も集めてきちゃった。ぱらぱらぱら～」と予め切っておいた3色の紙帯を上から散らして見せる。 ※提示には「欲しい」と思わせるインパクトが大切。子ども達の視線を手元に注目させて確認してから一呼吸おいて、「パラパラ」と散らす。 2～3回散らした後に「あれ？」と、長いままの帯を散らす。 保：「なんか、変だよ。長いね」と子ども達の気持ちを代弁する。 講：「ホントだ」と形の違いを比較。「どうしたら良いのかな？」と道具（はさみ）の必要性を子ども達から引き出す。「小さくするには…そうか、はさみを使えばいいのね」と、はさみを使うことを子ども達と確認する。紙帯をはさみで切る見本行動を見せる。 <ul style="list-style-type: none"> ①はさみの持ち方の確認（1つの穴に親指、もう1つに小指以外の指を入れる） ②「グーパー（閉じて開いて）」の繰り返しで切れることを伝える。この時、刃を人に向けない、刃に指を挟まないなど安全に使うための注意も伝える。（ただし怖がらせない程度に）。 ③反対の手で紙を持ち「はさみはパー（刃を開く）、ちょっきん」をキーワードに繰り返して小さく切っていく。 	保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 子ども達の反応を引き出すように、見本となる反応をする 紙帯提示 紙帯、はさみ配布 はさみの持ち方確認指導 はさみの切り方指導補助 皿配布 はさみ回収 状況により机、椅子の片付け 称賛
活動内容	数にチャレンジ <ul style="list-style-type: none"> 講：「今日はおはじき3個と（紙帯）交換だよ。先生やってみるね」と見本行動。子ども達と一緒に「1・2・3ストップ。全部で3」とおはじきを取り、紙帯と交換する見本行動を見せる。 保：子ども達に紙帯を配布。 講保：1人1人の握り方を確認しながら補助する。1人で持って切ることが出来る子がいる場合は、安全面に配慮しながら個人で持たせて切っても良い。 保育士が1人ずつ対応する場合は、1人が3本切り終わってから次の子の対応をするのではなく、1人1本切れた子に移るようにして、待ち時間を短くする。 子：1人3本を目標に切っていく。（切った紙帯は皿に入れる） ※1人1丁持たせて行った場合、早く切れた子には紙帯を追加で与え、切らせても良い。その場合、3本で終了となった子には予め切っておいたものを「プレゼント」と言いながら追加していく。 保：終わった子から速やかにはさみ回収。 講：「秋の葉っぱ、パラパラしてみようか」子ども達と一緒に切れた紙片を落ち葉に見立て散らしてみる。環境が許せば席から立ち（素早く机を片付けて）床の上で楽しめると良い。パラパラと楽しんだ葉っぱは一旦それぞれ皿に集め、そのままの態勢で（椅子又は床）<活動②>に進む。 	

活動②	ねらい	制作	切って作った秋色の葉っぱを使って風船を作り楽し く遊びましょう	実物参照
設問	つなぎ	はさみで切った秋色の葉っぱを使って風船を作って遊びましょう		

活動内容	つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・保：「先生見て！ポン！ポン！」と楽しそうに完成した風船を提示。講師に「ポン」と飛ばして渡す。 ・講：受け取った風船をポンポンと手の平で飛ばすなど楽しむ姿を見せ導入。 「みんなも作って遊ぼうか？」と期待を持たせて、材料のビニール袋提示。 <見本行動>①切った紙片を袋に入れる ②空気を入れながらビニール袋の口 をねじる ③「止めてください」と言って講師、保育士にセロテープで止めてもらう ・保：ビニール袋配布。 ・子：見本同様にビニール袋に切った紙片を入れ風船を作り風船遊びを楽しむ。 ※できた風船に名前シールを貼ってから遊ぶと取り間違えない。 ※ポンポン上に飛ばしてキャッチしたり、準備したカゴの中にめがけて入れさせたりとして遊びを楽しむ。 ・講：頃合いを見て終了の合図を出す。綺麗な秋色の葉っぱが切れ、風船ができたことを称賛。「今日はお土産にして、お家のの人にも秋の葉っぱ見せてあげようね」と期待を持って終了する。 ※保育室の環境的に大きな動きで楽しめなかったクラスは「今度お散歩に行って公園で飛ばそうか？」などと期待を持たせて終了する。 	教材
		活動①で作った葉っぱ ビニール袋 提示用セット ★セロハンテープ ※提示用セットで予め1つ風船を完成させておく 保育士の役割 ・風船提示 ・ビニール袋配布 ・風船作り補助 ・子どもからの意思表示を受けて風船の口をセロテープで止める ・子ども達と一緒に楽しく遊ぶ ・称賛 ・風船回収	

数チャレ	ねらい	数	多数のおはじきの中から「3個」取ことができ	教材
設問	おはじき「3個」取って紙帯と交換しましょう			
活動内容	※<活動①>の中で実施します。 ※クラスの状況によっては、活動②のビニール袋と交換で行っても良い。			

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	虫や花の名称を確認しながら、秋の「豆知識」を子ども達に伝えることが出来たか
活動① 巧緻性	はさみとの出会いを大切にし、使用方法を丁寧に指導出来たか
活動② 制作	時間を見ながら、その時に合った方法で風船遊びを行えたか
数チャレ	活動①に含む

練習タイム♪

*** テーマ・調節 ***

ねらってねらって！

●運動会の玉入れと同じです。
カゴ、箱、袋、テープ等でラインを引く等々目標となるものを置いて、それに狙ってボールを投げ入れて遊んでみましょう。
※月齢的に上手投げでボールを投げができるようになる時期です。このような活動を通して室内でも全身を使った活動を楽しみましょう。

**カゴねらって！
ポン！**



ボール投げは全身運動。加えて集中力、コントロール力も育てます。

えかきリズムの動画はこちら ➡ 

練習タイムの動画はこちら ➡ 